

公共事業の効果等について

【事業名、地区名、事業概要】

事業名：県営ため池等整備事業

路線名又は箇所名：瓶屋上地区^{かめやかみ}

事業の概要

工 期：平成 19 年度～平成 23 年度

事 業 費：85,575 千円

事業内容：堤体工 L = 120 m

取水施設工 一式

洪水吐工 一式

法面保護工 A = 716 m²

【公共事業の効果等】

ため池の堤体補強や洪水吐、取水施設の整備を行ったことにより、ため池の決壊を未然に防ぎ、下流域の農地・農業用施設及び人命・人家・公共施設等への被害を防止するとともに、安定した農業用水を確保することができるようになったことで、農業経営の安定が図られた。

【事業実施前の状況等】

当ため池は地区のかんがい用水源として重要な役割を果たしていたが、堤体が断面不足のうえに脆弱化し、堤体法面は全線にわたり洗堀されており、一部においては陥没箇所もあり、地元で応急処置を行っている状況であった。

堤体中腹にパイピングが見られ、ここからの漏水により満水位までの貯水ができず、安定した農業用水の確保に支障をきたしていた。

取水施設は老朽化しており、また一部破損している箇所もあり、かんがい期の取水に支障をきたしていた。

【事業実施後の状況や県民の声など】

漏水が止まり貯水量が保たれるようになったことで、安定した農業用水の確保ができるようになり安心した。

堤体決壊の危険性がなくなり、安心して生活できるようになった。（特に下流域の住民から）取水施設が改修され、水管理の際の操作が容易となった。また、階段が設置されたことで操作の際に池へ転落する恐れがなくなった。